

平成30年度事業報告

概 要

平成30年度の釧路市は、衝撃的な出来事があまりにも多く発生し、少子化や高齢化、人口減少に更に追い打ちを掛けかねない厳しい一年となりました。

永きに亘って釧路経済をけん引した水産・石炭・紙、パルプ等主要産業の衰退や大手スーパーの釧路からの撤退、トップリーグで活躍した地元アイスホッケーチームの解散、石炭列車の廃止など、市民にとって日常的な風景が消えゆく年となりました。

そういった厳しい社会情勢の下、定年退職後等も長年培った知識や経験を地域社会に還元し、健康で元気に働くことにより生きがいを見出そうとする高齢者のために、安全を第一にした就業機会の確保・提供、並びに会員増強を図るべくシルバー人材センター事業における諸活動を、会員並びに役職員が一体となっておこないました。

特に適正就業ガイドラインによる周知徹底が強く求められる中、その取り組みを強化するとともに、北海道シルバー人材センター連合会が行う、一般労働者派遣事業を積極的に取り入れることによって、高齢者の多様な就業形態に対応した事業を展開しましたが、65歳定年制や定年後の継続雇用制度また釧路経済の衰退・産業形態の変化などにより、退会希望者が入会希望者を上回る状況に歯止めがかからず、前年度対比33名の会員減となり、就業関係では受注件数、就業延日人員、契約金額ともに前年度実績を下回る結果となりました。

事業概要

| 項 目 | 29年度実績 | 30年度実績 | 前年度対比 |
|---------|-----------|-----------|------------------|
| 会 員 数 | 672人 | 639人 | △33人(△4.9%) |
| 受 注 件 数 | 1,751件 | 1,575件 | △176件(△10.1%) |
| 就業延日人員 | 47,872人 | 44,848人 | △3,024人(△6.3%) |
| 契 約 金 額 | 238,781千円 | 223,674千円 | △15,107千円(△6.3%) |
| 就 業 率 | 74.6% | 74.3% | 0.3ポイント減 |

事業の内容

1 安全・適正就業の強化推進

安全就業推進委員会を中心に、繁忙期の巡回パトロールをはじめ就業会員や就業先関係者に安全就業意識や健康管理の徹底を依頼し、会報、地域班会議においても安全就業の徹底を呼び掛け、事故発生を未然に防ぐ努力をしましたが、傷害事故が発生いたしました。

また、シルバー人材センター適正就業ガイドラインの周知徹底を行ない、不適正な業務依頼は受託しないことなど依頼先や会員の理解のもと、適正な業務運営に取り組みました。

2 会員の増強・組織体制の強化

会員100万人達成計画の取組が全国のシルバー人材センターで始まりました。当センターにおいても、会員・役職員が新規会員一人獲得運動の推進と会員のロコミによる入会促進活動を実施いたしました。また、会員減少による地域班再編成の実施に向けて、班長・副班長会議並びにブロック合同班会議等を含め地域班会議で協力要請を行ない、新しい地域班編成後の機能拡充を図るべく、連携を確認いたしました。

3 普及啓発・就業機会の開拓

会員及び理事・事務局職員が各地域の一般家庭、諸団体に対して、シルバー人材センター事業のPR活動を実施し、ハローワーク、釧路市、高齢者が集うカフェなどにリーフレットを配布しました。また各報道機関に、センター活動などの情報提供を行なうとともに、センターホームページを一新し、インターネットを通じて広くセンター事業の活動状況などを発信し、就業機会の開拓を行ないました。

4 地域社会への貢献

高齢化率が進行する釧路市において、一人暮らしの高齢者から日常などで生活支援サービスの要望があることから、女性会員の就業拡大業務として介護支援施設などと連携し、掃除・洗濯・食事作り、除草、除雪などの生活支援業務や単身者や共働き家庭への支援業務も積極的に実施いたしました。

また、各地域の会員が互いに協力し、地域イベント会場などでの清掃ボランティアを実施いたしました。

5 事業運営等に関する調査研究実施

地域会員並びに役員・事務局による新規の発注者を掘り起こす取り組みにより、釧路市内各地域に潜在している仕事の情報収集を行ないました。また今後の事業運営の参考とするため、北海道シルバー人材センター連合会と共同で発注者に対しセンター活用に関するアンケート調査を行うとともに、多様なニーズに対応するため、各種技能講習会開催を検討・研究し、特に後継者が不足している職種に対応するため実施いたしました。

事務局体制に関して、公益社団法人としての事業運営に係る事務の適正化・効率化を一層進め、事務局職員の資質向上を推進するため各種研修会、講習会に出席させました。

6 一般労働者派遣事業の推進

適正就業ガイドラインの周知推進により、請負・委任にはなじまない業務についての点検を行い、北海道シルバー人材センター連合会の実施事務所として、シルバー人材センター一般労働者派遣事業を継続し、高齢者の多様な就業形態に対応いたしました。

年齢別正会員数（平成31年3月31日現在）

| 区 分 | 男 性 | 女 性 | 合 計 | 構成比 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 60歳～64歳 | 13 | 9 | 22 | 3.4% |
| 65歳～69歳 | 100 | 49 | 149 | 23.3% |
| 70歳～74歳 | 133 | 82 | 215 | 33.7% |
| 75歳～79歳 | 130 | 45 | 175 | 27.4% |
| 80歳以上 | 56 | 22 | 78 | 12.2% |
| 合 計 | 432 | 207 | 639 | |
| 平均年齢 | 73.9歳 | 72.9歳 | 73.6歳 | |